

反戦の思いアニメに

あす一般上映 映像作家ら制作

絵本「戦争のつくりかた」を原作としたアニメーションを映像作家たちが制作し2日、目黒区中央町の複合施設「クラスカ」で上映イベントを開いた。4日には一般を対象に上映する。

制作したのは、有名ミュージシャンの音楽ビデオを手がけてきた丹下紘希さん(46)らがつくる、映像作家グループ「NODDIN(ノディン)」。絵本に込められた反戦のメッセージを映像化しようと昨年夏にプロジェクトをスタートさせ、アニメーション作家ら約40人の協力の下、7分41秒の作品に仕上げた。インターネットで呼びかけ、賛同した約200人が制作費を支援した。

「戦争のつくりかた」は2004年、有事関連法の成立に危機感を覚えた主婦らが出版し、昨年新装版も発行された。「戦争しない」と決めていた国で教育やメディア、憲法が変わっていき、人々が戦争に向かっていく様子が描かれている。アニメーションは各作家が、リレー形式で一つの作品につなげた。

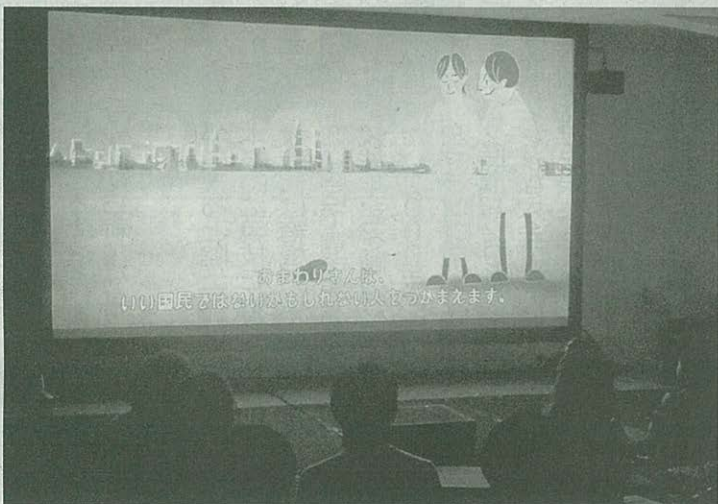
丹下さんは「『戦争のつくりかた』は平和の作り方。さまざまな表現を通して政治に関わってほしい」と話している。

上映は同会場で3日と4日も行われ、3日は支援者が対象、4日

(午後3時と同日5時45分)の上映は一般の鑑賞も可。また、両日も福島第一原発事故をテーマにした映像作品

の上映のほか、学生団体「SEALDS(シールズ)」とノディンのトークセッション(3日午後4時)などもある。会場には反戦を訴える造形作品も展示されている。いずれも無料。

【関谷俊介】



絵本「戦争のつくりかた」のアニメーションの上映
目黒区で